科目「ビジネス基礎」における指導と評価の工夫

１　本事例の概要

科目「ビジネス基礎」は、「ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ，経済社会の一員として望ましい心構えを身に付けさせるとともに，ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。」ことが目標となっている。

本事例では、雇用の形態と雇用に伴う企業の責任について、企業活動に関する基礎的な知識を習得させるとともに、生徒の興味・関心を育むため、実際の求人票を用いた体験学習を通して具体的に学び理解を深めさせることを目指した。そして、将来、就職活動の中で企業選択に生かせる能力や態度を養い、進路実現に役立てることを目指した。

２　授業実践

(1) 単元名　企業活動の基礎　「雇用」

(2) 単元の目標

日本における雇用形態の特徴と多様化について理解させる。また、雇用の安定や福利厚生など雇用に伴う企業の責任について、具体的な事例の考察を通して理解させる。

(3) 単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 |
| ①労働に関する法令について調べようとしている。②今までの学習内容を参考に、企業について探究し、自らの判断で企業を選択しようとしている。 | ①企業の選択において、自分の考えを表現している。 | ①求人票から給与の内訳について適切に分類し算出している。 | ①各雇用形態についてそれぞれの特徴やメリット、デメリットについて理解している。②企業の社会的責任について理解している。③社会保険制度について理解している。 |

(4) 単元の指導計画と評価計画（４時間）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | ○ねらい・学習活動 | 評価の観点 | 評価規準 |
| 関 | 思 | 技 | 知 |
| １ | 雇用の形態

|  |
| --- |
| ○雇用形態の特徴について理解する。 |

・正規雇用と非正規雇用の違いについて理解する。・非正規雇用について主な四つの分類について理解する。・各雇用形態のメリットやデメリットについて理解する。 |  |  |  | ① | １　各雇用形態についてそれぞれの特徴やメリット、デメリットについて理解している。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ２ | 雇用に伴う企業責任①

|  |
| --- |
| ○企業活動が社会へ与える影響について考えるとともに、雇用や労働に関しても責任を負わなければならないことを理解する。また、労働に関する法令についてその種類や内容を調べて整理する。 |

・企業の社会的責任についてその内容を理解する。・労働に関する法令について調べて、ワークシートにまとめる。 | ① |  |  | ② | ２　企業の社会的責任について理解している。３　労働に関する法令について調べようとしている。 |
| ３ | 雇用に伴う企業責任②

|  |
| --- |
| ○各種保険制度についてその内容を理解する。また、給与所得について、控除額の主な内訳を税金と社会保険料に分類し、算出することができる。 |

・社会保険制度についてその意義と内容について理解する。・求人票などの資料を基に、給料計算を行う。 |  |  | ① | ③ | ４　社会保険制度について理解している。５　求人票から給与の内訳について適切に分類し算出している。 |
| ４ | 雇用に伴う企業責任②

|  |
| --- |
| ○これまで学んだ知識を基に、求人票から希望する企業を選択し、選択理由についてまとめる。 |

・これまで学んだ知識を基に、求人票から希望する企業を選択する。・選択理由についてワークシートにまとめる。 | ② | ① |  |  | ６　今までの学習内容を参考に、企業について探究し、自らの判断で企業を選択しようとしている。７　企業の選択において、自分の考えを表現している。 |

(5) 授業の概要

ここでは、雇用について１時間目から４時間目までの単元全範囲について報告する。概要は、以下のとおりである。

ア　１時間目の授業　「雇用の形態」

(ｱ) 本時のねらい

雇用形態の特徴について理解する。

(ｲ) 本時の展開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 |

|  |  |
| --- | --- |
| 指導上の留意点 | 評価規準［観点］（評価方法） |

 |
| 導入 | ・本時の学習課題を確認する。 | ・３年生が就職活動で企業選択を行っていることを伝え、現在の知識で自分たちも企業選択ができるのか考えさせる。 |
| 展開 | ・求人票を調べ、興味をもつ企業について考える。・正規雇用の特徴について理解する。・非正規雇用の主な四つの勤務形態について理解する。・ワークシート①を用いて、各雇用形態のメリットやデメリットについてまとめる。 | ・現在の知識で企業を選ぶとき、どのような点に着目して選択したか考えさせる。・正規雇用について、かつての日本型雇用制度の特徴を示した後、近年の雇用の状況について説明させ、なぜそのような変化があったのか考察させる。・非正規雇用については、勤務時間や労働条件、給与面での違いにより勤務形態の違いを示し、それぞれの違いを考察させる。・正規雇用や非正規雇用の形態別のメリット、デメリットについて考えさせ、ワークシート①にまとめるよう指示する。

|  |
| --- |
| 評価規準１　各雇用形態についてそれぞれの特徴やメリット、デメリットについて理解している。［知識・理解］(ワークシート) |

・机間指導をして、個人の意見がまとまったところで、周りの人と意見交換するように指示する。 |
| まとめ | ・本時の学習内容を振り返る。 | ・現在の雇用形態が多様化していることを中心に本時の内容を振り返る。 |

イ　２時間目の授業　「雇用に伴う企業責任①」

(ｱ) 本時のねらい

企業活動が社会へ与える影響について考えるとともに、雇用や労働に関しても責任を負わなければならないことを理解する。また、労働に関する法令についてその種類や内容を調べて整理する。

(ｲ) 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点　評価規準［観点］（評価方法） |
| 導入 | ・前時までの復習と、本時の学習課題を確認する。 | ・雇用する側の責任や、法令について学習することを伝える。 |
| 展開 | ・企業の社会的責任とはどのようなことか理解する。・労働者も企業にとって利害関係者であることを理解する。・労働に関する法令について、その種類と内容を整理し、ワークシート②へまとめる。・福利厚生のうち、企業が任意に設ける制度についてその意義と内容を理解する。 | ・企業は、利益の獲得とともに、その活動が社会へ与えている影響に責任をもたなければならないことを理解させるとともに、従業員も利害関係者であり、法に基づいた責任を負っていることを理解させる。

|  |
| --- |
| 評価規準２　企業の社会的責任について理解している。［知識・理解］（ワークシート） |

・労働に関する法令について、具体的な内容を示しながら説明を行う。労働三法だけでなく、その他労働に関する法についても触れる。

|  |
| --- |
| 評価規準３　労働に関する法令について調べようとしている。［関心・意欲・態度］（ワークシート） |

・法令で義務づけられている制度と、企業が任意で設けている制度があることに注意させる。 |
| まとめ | ・本時の学習内容を振り返る。 | ・必要に応じてワークシート②へまとめるよう指示する。 |

ウ　３時間目の授業　「雇用に伴う企業責任②」

(ｱ) 本時のねらい

各種保険制度についてその内容を理解する。また、給与所得について、控除額の主な内訳を税金と社会保険料に分類し、算出することができる。

(ｲ) 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点　評価規準［観点］（評価方法） |
| 導入 | ・前時までの復習と、本時の学習課題を確認する。 | ・保険制度について学習することを伝える。 |
| 展開 | ・社会保険制度についてその意義と内容について理解する。・求人票などの資料を基に、給料計算を行う。 | ・社会保険制度について、保険の役割についても触れ、教科書に記載されている五つの制度について説明する。

|  |
| --- |
| 評価規準４　社会保険制度について理解している。［知識・理解］（ワークシート） |

・給料から控除されるものが、主に税金と社会保険料であることを理解したうえで算出するよう指示する。

|  |
| --- |
| 評価規準５　求人票から給与の内訳について適切に分類し算出している。［技能］（ワークシート） |

 |
| まとめ | ・本時の学習内容を振り返る。 | ・単元全体を振り返り、次回は今までの内容を基に求人票から企業を選択することを示す。 |

エ　４時間目の授業　「雇用に伴う企業責任②」

(ｱ) 本時のねらい

これまで学んだ知識を基に、求人票から希望する企業を選択し、選択理由についてまとめる。

(ｲ) 本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点　評価規準［観点］（評価方法） |
| 導入 | ・前時までの復習と、本時の学習課題を確認する。 | ・前時に選択した企業を確認することを伝える。 |
| 展開 | ・求人票から、これまでの知識を基に希望する企業を選択し、その理由について考えをまとめる。・ワークシート④を使い、グループ内で発表する。・グループの代表者が全体の前で発表する。 | ・これまで学んだ知識を基に選択し、その理由について自分の考えをまとめるように説明する。

|  |
| --- |
| 評価規準６　今までの学習内容を参考に、企業について探究し、自らの判断で企業を選択しようとしている。［関心・意欲・態度］（ワークシート） |

|  |
| --- |
| 評価規準７　企業の選択において、自分の考えを表現している。［思考・判断・表現］（ワークシート） |

・発表の際、他の人の発表内容をワークシート④にまとめながら聞くように指示する。 |
| まとめ | ・本時の学習内容を振り返る。 | ・発表を聞いた後、必要に応じてワークシート④へまとめるよう指示する。 |

＜引用・参考文献＞

文部科学省『高等学校学習指導要領解説　商業編』（平成22年）

国立教育政策研究所『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【高等学校　専門教科】』（平成25年３月）